

小さな異常を、より正確に。

近畿大学医学部附属病院のPET/CT検査

PET/CT装置は「PET検査」と「CT検査」の良いところを組み合わせることで、より診断情報の多い画像を得ることができる装置です。他の検査よりも精度が高い上、たった一度の検査で全身を診ることも可能。さらに短時間で終わり、痛みや不快感がないのも大きなメリットです。一般的にはがんや炎症の病巣を調べることに利用されますが、特定の認知症やてんかん、心筋梗塞を診断するにも効果的。当院では昨年3月に導入された新機器で、さらに小さな異常を、さらに鮮明に写し出せるようになりました。新しいPET/CT装置による検診を受けてみませんか？



PET/CT検査の流れ



安静にしている間でも水分を充分補給し、
トイレで排尿してください。
撮影前に排尿していただきます。

※使用する薬剤によって安静時間などは変わります。



受付連絡先

高度先端総合医療センター (PET分子イメージング部) 受付

TEL (072) 366-0221 (内線2604、2605) FAX (072) 366-3690

[受付時間] 月～金/9:00～17:00 土/9:00～12:45



医学部・附属病院

<http://www.med.kindai.ac.jp/>

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

TEL (072) 366-0221 (代表) / FAX (072) 366-0206

お知らせ

広報誌「きずな」のバックナンバーは、病院ホームページよりご覧いただけます。
アンケートもホームページ上で実施しておりますので、ぜひご協力お願いいたします。

<http://www.med.kindai.ac.jp/kizuna.html>

きんだいびょういん 検索

最先端の技術と医療とあなたを結ぶ

きずな

Vol.19
Winter-Spring

Kindai
University
Hospital

Kindai Now

最先端の肺がん治療と予備知識

今、気になる病

乳がん



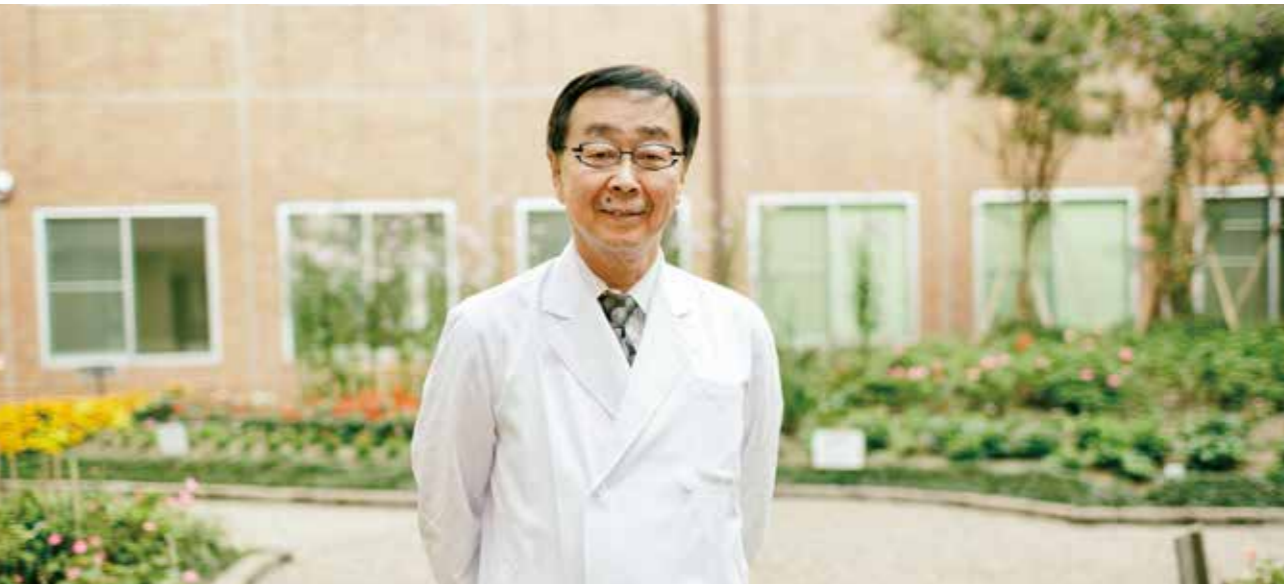
特集1 誤嚥性肺炎

特集2 災害派遣医療チーム DMAT

特集3 体の不調に東洋医学と漢方の力を



近畿大学医学部附属病院



がんの罹患者数が増加の一途を辿り、日本人を取り巻くがん環境が大きく変化する中、近畿大学医学部附属病院は特定機能病院としてがんの診断・治療に以前より力を注いできました。たとえばがんセンターには通院治療センター、放射線治療部、緩和ケアセンター、がん相談支援センターを設置。集学的治療と同時に、情報の発信、優れたがん専門医の育成にも取り組んでいます。さらに、地域における医療機関との連携を深め、専門的な治療が終了した後は紹介元の医療機関をご案内させていただいたり、必要な医療を適切な医療機関で受診いただけるようにご紹介したりもしています。ここ、南大阪エリアでがんとともに生きるひとが少しでも安心できるように。近畿大学医学部附属病院は関連機関とともに、より良い医療の提供を目指していきます。

病院長 東田有智

特定機能病院としてがんセンターの充実、地域医療との連携を加速させています。

理念

患者本位の開かれた病院として、安全で質の高い先進医療を提供します。

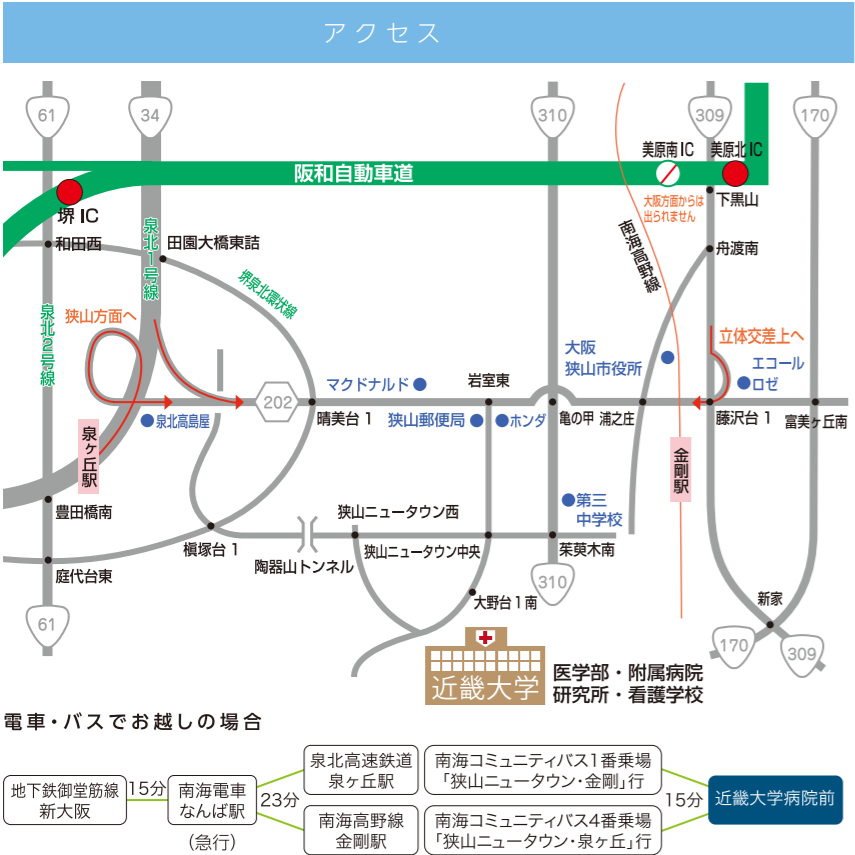
基本方針

1 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。

2 特定機能病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。

3 南大阪における基幹病院および救急災害病院として地域医療に貢献します。

4 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。



患者さん用駐車場ご利用案内

当日受診の患者さん	
入場より3時間まで	100円
入場より4時間まで	300円
4時間以降60分 100円	
当日1日最大料金	
1,000円	
お見舞いの方・一般の方	
入場より1時間まで	300円
以降60分 200円	
最大料金適用日時	平日・土 14:00 ~ 24:00 日・祝 13:00 ~ 24:00
入場より最初の30分無料	

当日受診の患者さんは、駐車券を院内へお持ちいただき、「2階会計窓口」で割引処理を行ってください。精算は屋外(病院棟1階出入口付近)の事前精算機をご利用くださいますようお願い申し上げます。

各診療科のご案内

3F	産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、疼痛制御センター(麻酔科)、形成外科、歯科口腔外科、東洋医学診療所
2F	循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、血液・膠原病内科、腎臓内科、神経内科、腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、メンタルヘルス科、外科(上部消化管、下部消化管、肝胆脾)、外科(肺)、外科(乳腺内分泌)、外科(小児)、脳神経外科、心臓血管外科、心療内科、漢方診療科、緩和ケア科
1F	整形外科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科

外来受付時間

平日	土曜	休診日
予約外又は紹介状をお持ちでない患者さん 8時30分~11時30分	8時30分~11時00分	日曜日・祝日 創立記念日(11月5日) 年末年始(12月29日~1月3日)
紹介状をお持ちの患者さん 8時30分~14時00分		

※ 当院での治療等を必要とされる場合、紹介医からの紹介状が原則となっておりますので、当院宛の診療情報提供書(紹介状)を持参くださいますようお願いいたします。
 ※ 初診時に紹介状をお持ちでない方には、保険外併用療養費として10,800円(税込)をご負担頂きます。
 ※ 診療科によっては、完全予約制や休診日もございますので、詳しくは各診療科にお問い合わせください。

CONTENTS

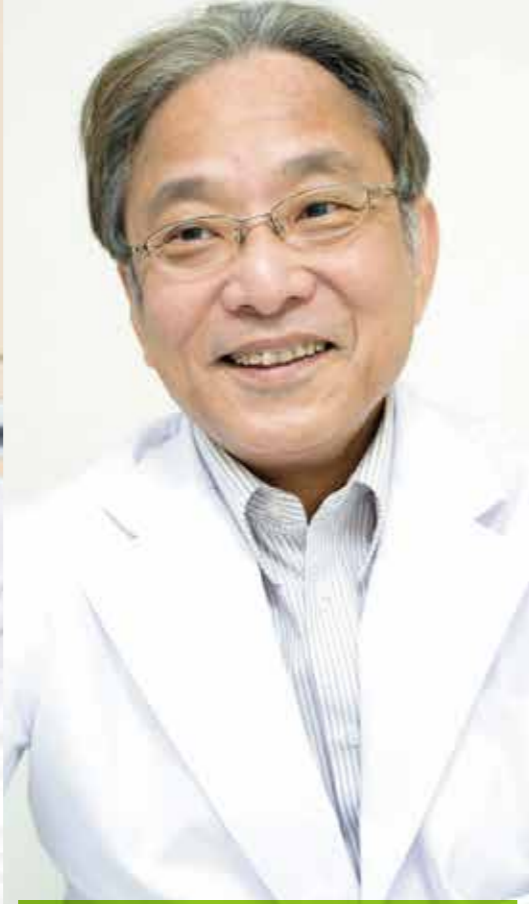
理念・ご案内	P.1	[薬剤部からお伝えしたいこと!]クスリノハナシ	P.13
病院長メッセージ	P.2	[Kindai栄養部発信!]おいしい栄養食レシピ	P.14
[Kindai Now]最先端の肺がん治療と予備知識	P.3~4	Message from Nurse	P.15
[特集1]誤嚥性肺炎	P.5	つなぐ/卒業生の今	P.16
[特集2]災害派遣医療チーム DMAT	P.6	イベントスケジュール	P.17
[特集3]体の不調に東洋医学と漢方の力を	P.7~8	各相談窓口のご紹介	P.18
研究紹介	P.9~10	PET/CT検査のご案内	裏表紙
[今、気になる病]乳がん	P.11~12		

最先端の肺がん治療と予備知識

主ながんの中でも肺がんは患者全体に占める死亡者数が多い病気。しかしその一方で新しい治療も次々に登場しており、治療成績も大幅に向上してきています。



呼吸器外科
教授 光富徹哉



ゲノム生物学
教授 西尾和人



腫瘍内科
教授 中川和彦

体への負担は少なく、
効果は大きく。
入院期間の短縮も。

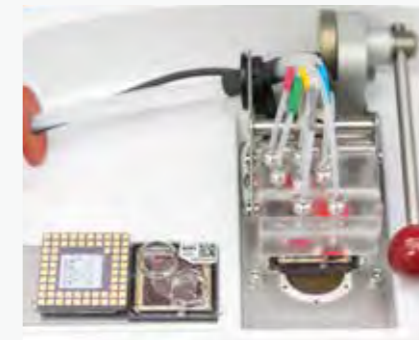
最新の遺伝子解析を
近大病院から
全国へ、世界へ。

肺がんの薬物治療は
あらゆる悪性腫瘍の中で
最も進歩著しい分野。

画像診断技術の向上などで早期発見が増え、肺がんであっても外科的手術で根治を目指す患者さんも年々増加しています。肺がん細胞の場所、大きさなどにもよりますが、開胸手術ではなく、内視鏡を使ったものも一般的になりました。肺がんの手術といえば20年前なら約1か月の入院期間を必要としていましたが、現在では1週間程度、手術自体も3時間前後で終了することが普通です。しかし、そうした手術の進歩がある一方で忘れてはならないのが「安全第一」であるということ。がんを治すための手術が、命を奪う原因になっては意味がありません。いくら器械が発展しても、執刀する医師の技術が未熟では元も子もない。近畿大学医学部附属病院の呼吸器外科チームではそんな当たり前を大切に、手術の進化、薬物療法、遺伝子医療などを組み合わせながら、肺がん治療の成績向上に取り組んでいます。

がん増殖に関わる分子にピンポイントで作用する「分子標的薬」は効果的で、副作用が少ない反面、がん細胞がその薬に対して耐性を持ってしまったり効果が薄れるという特徴があります。そこで治療の効率を上げるために大切なのが、効く薬物を遺伝子解析により見出すこと。また、耐性を持つ時期を正確に把握し、別の薬に切り替える計画を早く立てること。その判断の大きな手助けとなるのが、近畿大学医学部ゲノム生物学教室が主導する遺伝子解析です。これはゴマひと粒程度のがん細胞から遺伝子を取り出して、約2万種類すべての遺伝子を調べあげるといったもの。結果が出るまでに要する期間は1~2週間と、他施設と比較しても圧倒的に早いのも特徴で、スピード感が求められる肺がん治療の分野でも高い効果を発揮しています。今後はがん細胞ではなく、より患者さんにとって負担の少ない血液をサンプルとした遺伝子解析も日本で初めて運用していく予定。がんの遺伝子解析の分野をリードする存在として、近大病院は世界からも注目を集めています。

薬物を使った肺がんの治療は進歩が目覚しく、とても注目を集める分野となっています。2000年当時はステージIVと診断され、手術もできず、薬物に頼るしかなかったような患者さんの余命は大半が1年程度とされていた。それが現在では倍以上伸び、4年、5年と生きられる方も珍しくなくなってきました。治療成績の向上に大きく貢献しているのが、がん細胞を増殖させる指令系統を分子レベルでブロックする「分子標的薬」の存在。一定期間使用すると細胞に耐性ができますが、またそれに対応する新しい薬も次々に登場しています。さらに免疫機能にブレーキをかける物質にピンポイントで作用し、がん細胞を攻撃する力を高める「免疫チェックポイント阻害剤」も着実に成果を上げています。近大病院ではそうした新しい治療をどんどん取り入れ、治験なども積極的に行っています。治療の選択肢を増やすという意味でもぜひ当院に相談していただければ嬉しいです。



基礎知識

▶ 肺がんの種類

肺がんの中にはさまざまな種類があり、それに応じて治療方法も異なります。たとえば喫煙者に多いのが小細胞がん。増殖が早く、転移も起こりやすいですが、薬物や放射線療法の効果が高いのが特徴です。また、女性や非喫煙者で多いのは腺がんと呼ばれるもの。ドライバー遺伝子の変異によって起こることが多く、分子標的薬が大きな力を発揮します。

▶ 肺がんの治療

肺がんの治療は大きく分けて3つのタイプがあります。ひとつは患部にとどまる腫瘍を直接取り除く「外科手術」で、最も治癒が見込めます。ふたつめが手術が難しい場合なども含め、局所的に治療を施す「放射線治療」。そして、腫瘍が転移している場合など、血液に薬剤を流し、全身に働きかける「薬物療法」。これは長らく抗がん剤が一般的でしたが、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤といった新しい治療法もどんどん確立されてきています。

特集 1

誤嚥性肺炎

誤嚥とは飲み込んだものが気管に入り込むことで、高齢者の窒息や肺炎の原因の多くがこれによるもの。

日本人の死因の第3位が肺炎と言われる時代、適切な予防策を心がけるようにしましょう。



適切な予防策と、早めの受診が大切です。

今、肺炎で亡くなる高齢者が増えてい
ます。肺炎にはウイルスや細菌による感染症
肺炎、抗がん剤などによる薬剤性肺炎な
ど、いくつかの種類がありますが、70歳以
上がかかる肺炎の80%以上ともいわれて
いるのが「誤嚥性肺炎」と呼ばれるもの。
誤嚥とは飲み込んだものが気管に入り込む
ことで、加齢によって飲み込む力や喉の感
覚が鈍くなったり、脳卒中や神経・筋疾患
などで口や喉の神経が麻痺することで起
こりやすくなります。誤嚥性肺炎を防ぐに
はいくつかの対策があります。たとえば、口

の中の雑菌を少なくすること。これには歯
磨きや入れ歯のお手入れをこまめに行うの
が効果的です。また、食事の際にきちんと
顎を引いた体勢をとることも有効。背中が
丸くなってきた方は特に注意しましょう。
その他にも肺炎ワクチンの接種、食事前の
準備運動や、みそ汁やお茶といった水気
のあるものにとろみをつけることも効果
があるとされています。高齢者の場合、症
状が見えにくいのも特徴です。重症化す
る前に、周囲のご家族などが気づいてあ
げること大切です。



呼吸器・アレルギー内科
准教授 岩永 賢司

特集 2

災害派遣医療チーム DMAT

DMATは災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた、専門の医療チーム。

命を守る最前線の一員として、これからも大きな役割を果たしていきます。



南河内医療圏の災害拠点病院として。

DMATとは「災害派遣医療チーム(Disaster
Medical Assistance Team)」の略称で、
「災害急性期に活動できる機動性を持った
トレーニングを受けた医療チーム」と定義
された特別医療チーム。死者・行方不明者
6,425人を数える大惨事となった阪神・淡路
大震災発生時に持ち上がった初期医療体
制の課題を克服すべく、厚生労働省が2005
年4月に発足させました。近畿大学医学部
附属病院では南河内医療圏の災害拠点病
院として8名のドクターをはじめ、看護師、
薬剤師、事務員など合計約20名のスタッフ

が日本DMATに登録しており、激甚災害が
発生した場合、日本全国へ出動しています。
2016年に発生した熊本地震では本震の発
生から間もなく大阪の緊急消防隊とともに
ドクターカーで隊列を組みながら現地入
り。熊本赤十字病院を拠点に病院間の患者
搬送、本部活動(DMAT管理運営、情報取
集、スクリーニングなど)で、日勤と夜勤で
シフトを組み、交代で勤務にあたりました。
大規模災害の発生が増加する中、命を守る
最前線の一員として、これからも大きな役
割を果たしていきます。

第3回南大阪メディカルラリー選手権

最優秀DMATに輝くのはどのチーム?
南大阪メディカルラリー
ボランティアスタッフ募集中!

メディカルラリーとは医師、看護師、救急救命士などの医療チーム
が、救急・災害現場を想定した模擬シナリオに対して、制限時間内
にどれくらい的確に診断と治療を実施できるかを競うチーム競
技。現在、大阪狭山市さやま池公園周辺にて開催される「第3回南
大阪メディカルラリー選手権」の運営をサポート、ご協力いただ
けるボランティアスタッフを募集しています。最新の救命技術を間近
で体感できるチャンス。皆さまのご参加をお待ちしています!

日時:2018年3月3日(土)
ボランティアスタッフ集合時間:
8時30分(集合場所は現地予定)
競技時間:11時から16時(予定)
場所:大阪狭山市さやま池公園周辺
参加費:無料(交通費支給なし)

※病院関係者以外の
いかなる職種の方でもご参加可能です。

ボランティア
スタッフには
当日、お弁当と
参加記念品を
ご用意しています。



ご応募・詳細はこちら!
<http://www.kindai.ac.jp/medicine/news/topics/2017/11/010979.html>

体の不調に東洋医学と漢方の力を

患者さんの体質などを全体的に捉え、自然治癒力を向上させることが得意な東洋医学。

「身体が冷える、だるい」「食欲がない」といった病気として扱われにくい症状には漢方の力が役立ちます。



冷えのタイプに合わせた対策が大切です。

これからの季節に頭を悩ませるのが「冷え症」。男性に比べて筋肉量が少ない女性の方が、冷え症になりやすい傾向があります。冷えのタイプは大きく分けて3種類。主に手足に冷えを感じ、むくみも気になる「抹消冷えタイプ」、胃腸の弱いひとや下痢をしやすひとに多い「おなか冷えタイプ」、下半身は冷えているのに上半身は火照ったように暑い「冷えのぼせタイプ」があり、治療にはそれぞれに効果のある漢方薬が用いられます。ところで、「冷え症」と病気のような名前を持ち、確かに辛い症状があ

るものの、西洋医学ではこれを病気とはとらえられていません。一方の東洋医学では何世紀にもわたって、血めぐりなどに着目した治療が行われてきています。近畿大学東洋医学研究所附属診療所では、産婦人科医としての実績も豊富な医師のもと、西洋医学の専門性と利点、最新機器を使った検査や診断と、東洋医学の伝統を組み合わせ、幅広い症状をカバー。生薬の品質にも徹底的にこだわり、100%オーガニックで組み合わせた煎じ薬を専任薬剤師による院内調剤でご提供しています。

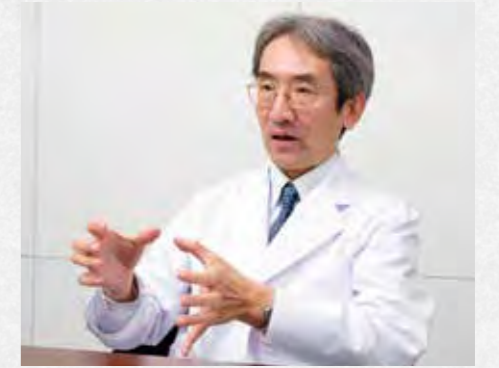


東洋医学研究所
日置 智津子

東洋医学研究所 所長
教授 武田 卓

月経前症候群に悩む前にご相談を。

月経前症候群(PMS)とは「月経前、3～10日の間つづく精神的、あるいは身体的症状で、月経とともに減少又は消失する症状」と定義されています。具体的にはイライラや落ち込み、不安感といった精神的なものや、腹部膨満感、乳房症状など。女性のうち約80%が何らかの辛さを感じているとされ、極めて重症になると日常生活に支障をきたし、「月経前気分不快障害(PMDD)」として治療が必要になってきます。西洋医学では黄体ホルモンを抑制するために低用量ピルを用いたり、脳内伝達物質に働きかける抗うつ薬などの薬剤を使用することが一般的ですが、東洋医学では2000年以上前から自然由来の生薬の力を借りて辛い症状を和らげてきました。また、最近では簡便に利用できるサプリメントにも注目が集まっており、近畿大学東洋医学研究所ではその効果と安全性を科学的に確かめる臨床試験も行っています。



力強い植物の力を借りて、健やかな心身のバランスを。

たとえば、体の疲れや胃腸の不調。病気とは言えないけれど、なんとなく感じる体のサイン。東洋医学ではそんな状態を「未病」と呼んでいます。人間には本来、それを健康な状態に引き戻す力が備わっていますが、情報にあふれ、変化のスピードが早い現代社会の中で心身のバランスが乱れ、その力を十分に発揮できないことがたくさんあります。そんなときに役立つのが漢方の力。そしてその素となる生薬はほとんどが植物です。植物自身も過酷な環境の中で生き残るためにさまざまに対応してきましたが、その中の成分を探ってみると、私たち人間にとっても有効なものがあることが次々とわかるようになってきました。古代からつづく経験則に加えて、科学の力でもその有効性が確認されはじめた漢方。東洋医学研究所附属診療所ではその提供だけではなく、ときにはさまざまな相談に乗りながら、ときには東洋医学的な生活習慣改善と一緒に取り組みながら、患者さんの心身のバランスを整えるお手伝いをしています。



月経前症候群の臨床研究に参加しませんか？

近畿大学東洋医学研究所附属診療所では、月経前症候群(PMS)に対してサプリメントの効果と安全性を科学的に確かめる臨床研究を進めています。試験方法は研究用の試験食(市販のサプリメントと同じもの、もしくは有効成分の入っていないプラセボ食)を使用します。試験の詳細は、ホームページをご覧ください。

参加には一定の条件があります。詳しくは

近畿大学
東洋医学研究所附属診療所まで

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2
072-366-0221(内線3236)

E-mail: toyoigaku3@med.kindai.ac.jp
HP: <http://www.med.kindai.ac.jp/toyo/>

クリニカルシーケンス

「がん患者さんのための遺伝子解析『近大クリニカルシーケンス』を無料で提供したい」
 そんな思いではじめたクラウドファンディング。たくさんのご支援、ありがとうございました。



**108名、
2,204,000円の資金が集まりました。**

「クリニカルシーケンス」とは患者さまの遺伝子を調べて、診断・治療に役立てること。近畿大学医学部ゲノム生物学教室の研究チームでは最先端機器である「次世代シーケンサー」を導入し、可能な限り一人でも多くの患者さんにがんの遺伝子解析を無償で提供し、最適な治療法を受けていただくためにクラウドファンディングを実施しました。約2か月半の募集期間に集まったご支援は108名、2,204,000円。目標金額に達することはできませんでしたが、多くのご支援のもと、新しい可能性を探ることに挑戦することができました。本クラウドファンディングでの実施報告書は、後日まとめて公表する予定です。近大病院の遺伝子研究に、これからもどうぞご期待ください。

Campfire × 近大クラウドファンディング「がん患者さまのための遺伝子解析

『近大クリニカルシーケンス』を無料で提供したい」に、たくさんのご賛同・

ご参加をいただき、厚くお礼申し上げます。頂戴しました御志を大事に、

希望される患者さまに、がんクリニカルシーケンスを実施させていただきます。

これからもおひとりでも多くの患者さまに最適化医療を提供するべく精進

して参りますので、引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。

近畿大学医学部ゲノム生物学教室 教授 西尾 和人

01

呼吸器外科 光富徹哉教授が、
日本学術会議会員の一人に。



日本学術会議会員とは「科学が文化国家の基礎であるという確信のもと、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させること」を目的として、昭和24年に内閣総理大臣の所轄の下に設立された特別機関。この度、日本の人文・社会科学・生命科学・理学・工学の全分野、約84万人の科学者を代表する名誉あるこの会の会員に、呼吸器外科 光富徹哉教授が安倍晋三内閣総理大臣から任命され、平成35年9月までその役割を全うすることとなりました。

02

高齢者の筋肉の
機能回復(リハビリテーション)に
新たな一歩！



医学部 解剖学教室 高齢者においては、寝たきりの状態や、四肢の長期固定などで容易に筋萎縮が生じます。これを廃用性筋萎縮とよびます。廃用性筋萎縮に対してリハビリテーションを行っても、高齢者では筋機能の回復がなかなか難しい。重吉康史教授らの研究グループは、その原因を高齡ラットの廃用性筋萎縮モデルを用いて研究しました。その結果、筋機能の回復を困難にしている主な原因は筋細胞の老化ではなく、コラーゲンを作る線維芽細胞の老化であることが明らかになりました。これは高齢者における廃用性筋萎縮後の機能回復促進に貢献する研究成果です。

03

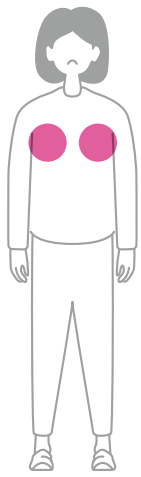
免疫チェックポイント阻害薬による
治療に新しい可能性。



近畿大学腫瘍内科を中心とした4つの医療機関の共同研究により、抗PD-1抗体ニボルマブによる治療を受けた進行・再発非小細胞肺癌患者において、ニボルマブ治療開始後6週以内に免疫関連有害事象(ニボルマブの様な免疫チェックポイント阻害薬によって引き起こされる特有の副作用)を発症した患者では、治療開始後6週以内に免疫関連有害事象を発症しなかった患者と比較して、その後のニボルマブの治療効果が良好であることが示唆されました。本研究成果は、JAMA Oncologyのオンライン版にて2017年9月に公開されました。

今、気になる病

乳がん



日本人女性が罹患するがんの中で数が一番多い一方で、比較的治りやすいがんとも言われる乳がん。治療方法も進化を遂げ、早期発見すれば怖い病ではなくなってきました。



乳腺・内分泌外科
菰池 佳史
教授

日本人女性が最も罹患するがん。

年間で9万人弱、10～11人に1人の日本人女性が罹患するといわれているのが乳がん。欧米と比較すると日本では発症の平均年齢が若いのが特徴で、仕事や家庭で重要な時期を過ごす40代後半が最も多い年代となっています。治療の成功率を高める鍵が、早期発見であることは他のがんと同じ。定期的な自己触診のほか、乳腺の石灰化などを発見できるマンモグラフィでの検診をぜひ受けるようにしましょう。

進行度に合わせてさまざまな治療を組み合わせ。

治療は進行度や乳がんのタイプに応じて、温存手術、全摘手術、放射線、薬物療法などを組み合わせて行います。近畿大学医学部附属病院では初期治療の場合なら、最新の画像診断技術を駆使して摘出範囲を決定。小さな範囲で済む場合はなるべく小さく、大きく取り除く必要がある場合でも乳房再建術を組み合わせ治療を提案しています。また、進行がんの場合は腫瘍内科との連携も積極的。新しい治療、治験などの紹介も行っています。

選べる乳房再建術

乳房は女性が女性らしくあるための、そして女性だけが持つ特別な臓器。たとえ命を守るための選択と言っても、乳房が変形したり、失ってしまうことには大きな悲しみや喪失感を伴って当然です。そこでそんな心の痛みを少しでも和らげ、女性としての自信をもう一度手に入れられるよう、乳がん治療によって形が変わった乳房を取り戻すのが「乳房再建術」です。近畿大学医学部附属病院では人工物であるシリコンインプラントを使用するもの、腹筋や広背筋など自家組織を使用するものの2つの方法で、乳房を再建するお手伝いをしています。シリコンインプラントは10年に1回程度のメンテナンスが必要なもの、術範囲が少なく済むメリットを持っています。また、自家組織の場合には健康組織に傷をつける反面、見た目がより自然に仕上がるという特徴があります。乳がんの治療中には病気を治すことに頭がいっぱいで、乳房の形にまでこだわれない方も少なくありません。しかし治療成績が大幅に向上した現在では、治療後の人生を考えるのも大切なこと。年齢に関わらず、ご希望に合わせて最適な方法をご提案しています。



進化する薬物療法

乳がんの治療では、再発防止なども見据えて乳腺の摘出術と薬物療法を組み合わせるケースがほとんど。中でも一般的なのが抗がん剤とホルモン剤による治療です。抗がん剤は副作用が心配されますが、吐き気や免疫力の低下などに効果のある薬もたくさん登場し、格段にコントロールしやすくなりました。また副作用が少なく、異常細胞にだけ働きかける分子標的薬も次々に登場しています。さらに遺伝子情報を調べた上で、より個人に合わせた治療ができるゲノム医療の研究も進んでいます。少ない負担で、もっと効果的に。薬物療法は今、ますます進化しています。



✓ 乳がんを見逃さないために

- 月に1回の自己触診
- 定期的な検診

自己触診で小さなしこりなどの異常を見つけるためには、正常な状態の感触を知っておくことが大切。日頃から自分の胸に触れておくことで、些細な変化に気づきやすくなります。

[薬剤部からお伝えしたいこと!]

ク ス リ ノ ハ ナ シ

日頃、皆さんが口にされている食べものや飲みものに、くすりととの相性があることをご存知でしょうか?くすりを飲んでいる間は、避けた方がよい食べものや飲みものがありますので、**特に注意が必要なもの**をご紹介します。

チーズ

チーズの中に大量に含まれているチラミンの分解をくすりが妨害するために、

チラミンがたまって、チラミン中毒(顔面紅潮・頭痛・急激な血圧上昇など)が起きることがあります。

チーズ以外にもチラミンの含有量が多い食べもの(ニシン・たらこなど)や

嗜好品(ビール・ワインなど)の過剰摂取は避けて下さい。

..... 注意が必要な当院採用の主なくすり名(成分名)



エプピーOD錠
(セレギリン)

<パーキンソン病の治療に使用する>

イスコチン錠
(イソニアジド)

<結核菌を殺す>

トリプタノール錠
(イミプラミン)

<夜尿症や気分のしずんだ状態を回復させる>

おいしい 栄養食 レシピ

delicious nutritional recipe

病院食は普通食を基本にして、減塩食や糖尿食など

様々な食種に合わせて展開しています。

減塩食は1日塩分負荷6g以下、糖尿食は個人に合わせた

エネルギー量をバランスよく摂れることが大きな特徴です。

そこで同日の減塩食と糖尿食の献立と、おいしく食べられるポイント、

ご家庭でも作れるレシピをご紹介します。

近大栄養部発信!



レシピ紹介 低エネルギー・塩分控えめでもおいしいレシピ

煮込みハンバーグ

ハンバーグは高エネルギーになりがちですが、肉は適量を使用したり、油を使用しないあっさりとした料理と組み合わせることで大幅な過剰なエネルギー摂取を防ぐことができます。またケチャップやとんかつソース、ウスターソースなど様々な調味料を少しずつ使用することで塩分を控えても深みのある味を出すことができ、「減塩」と感じにくい美味しさに仕上がります。

作り方

- ① 玉葱はみじん切りにしてサラダ油で炒め冷ます。
- ② ①と合挽ミンチをボウルに入れナツメグ、塩、こしょう、つなぎの卵、パン粉を加え、粘りが出るまでよく混ぜる。
- ③ 小判型に形を整え中央をくぼませ、フライパンで焼く。
- ④ ■ルー作り
バターを溶かし、小麦粉を入れ茶色になるまでゆっくりと混ぜながら弱火で炒める。コンソメスープを少しずつ加えながら伸ばし、ケチャップ、ウスターソース、とんかつソース、塩などを加え味を調える。
- ⑤ 玉葱と缶マッシュルームをサラダ油で炒めておき、④のルーと合わせる。
- ⑥ ⑤のソースの中に③の焼いたハンバーグを入れ煮込む。

材料(1人前)

■ハンバーグ		■ルー	
・合挽ミンチ	60g	・小麦粉	小さじ1
・玉葱	30g	・バター	3g
・卵	少々	・コンソメ	0.5g
・パン粉	少々	・ウスターソース	1g
・塩	0.5g	・トマトケチャップ	3g
・白こしょう	少々	・とんかつソース	3g
・ナツメグ	少々	・玉葱	30g
		・缶マッシュルーム	5g
		・サラダ油	小さじ1/4
		・ブロッコリー	40g

組み合わせ方 主菜は同じでも、副菜に変化をつけることで減塩食にも糖尿食にもアレンジ可能です。

南瓜の洋風煮込み

南瓜は自然な甘みがあり塩分を控えても食べやすい野菜です。コンソメ2gで塩分1gですので、1人前の煮物に使用するのに適量な量です。

カラフルサラダ (減塩食・糖尿食共通)

主菜にボリュームがあるぶん、油を使用しない甘酢のサラダを組み合わせると全体のエネルギーが跳ね上がらないように工夫しています。また甘酢のサラダは減塩にも役立ちます。

大根の洋風煮込み

減塩食の南瓜を大根に変えるとカロリーや炭水化物を抑えることができます。他にキャベツやブロッコリーなど様々な野菜でアレンジ可能です。



[減塩食] エネルギー620kcal/タンパク質25g/脂質17g/塩分2.5g

[糖尿食] エネルギー580kcal/タンパク質25g/脂質17g/塩分2.5g

煮込みハンバーグ、南瓜洋風煮込み、カラフルサラダ、米飯150g

煮込みハンバーグ、大根洋風煮込み、カラフルサラダ、米飯150g

Message from Nurse

- 医療を介して地域の発展に尽くす
- ところの通う医療で、地域住民の健康の保持・増進に尽くす
- 中核病院としての機能の向上に尽くす

これらを理念とし、昭和22年に前身の組合立国保橋本病院として開設され、平成16年に現在の橋本市小峰台に新病院をオープンされています。

25診療科と300床を備え、和歌山県北東部の二次医療圏にある中核病院として、地域がん診療連携病院、地域災害拠点病院、へき地医療拠点病院の指定を受け、地域医療を支えられています。「医療の質」の向上を目指した病院改革に取り組み、平成26年度に「ハイケアユニット(HCU)」や「地域包括ケア病棟」を新設、また今年度は安全、安心、納得、そして信頼の「選ばれる病院を目指す」を標語に掲げられ、職員一丸となって様々な取り組みを進められています。



病院からのメッセージ

橋本市民病院では昨年より「選ばれる病院」というスローガンを掲げ、職員一丸となり日々の業務に従事しております。橋本医療圏の中核病院として病診及び病病連携の強化、断らない救急体制、また市民の皆様には健康セミナーと題して地域に出向き病気予防等の講演を定期的実施させていただいております。近畿大学医学部附属病院との更なる連携を図り、多くの患者さんに安心を与えられる病院を目指してまいります。

患者支援センターについて

患者支援センターは医療に関わる手続きやセカンドオピニオン、社会保険・社会福祉制度に関する相談、退院・転院のサポート、地域医療との連携など、患者さんご家族が安心して治療や療養生活を送れるように支援を行う場所。医師やソーシャルワーカー、事務員などがそれぞれの専門領域で最適なサポートを提供する中、看護師は疾患や治療に関する知識を持った上で患者さん、病棟、地域をつなぐことができるのが強みです。「治療についてわからないことがある」「退院後の生活が不安……」など、どんなことでもお気軽にご相談ください。患者さん、ご家族の思いに寄り添い、少しでも助けになることが、私たちの喜びです。



患者支援センター
河村 亜耶

認知症看護認定看護師の1日

面談・ カウンセリング

患者さんやご家族の思い、環境、これからの希望などをしっかりとヒアリングすることで、より良い退院・転院調整、最適な行政サービスの提案につなげています。



▶ 倫理カンファレンス

予後の告知など、倫理面で難しい問題に直面する場合があります。そんなときには看護スタッフ間で方向性が定まるまで、何度もカンファレンスを行っています。



▶ カルテ作成

入院前の状況、今後の計画、介入の実績などを詳細に記載。誰が見ても詳細に把握できるようにすることはもちろん、個人情報取り扱いにも厳重な注意を払います。



土生裕史 先生

私は昭和59年に近畿大学医学部を卒業しました。大学院で心エコーを用いた心臓病の研究をおこなった後、附属病院のスタッフとして循環器疾患を中心とした内科診療に従事させていただきました。平成7年、河内長野市内にはぶ医院を開院し、お薬を使うだけでなく食事指導などの生活習慣の改善を重視した高血圧や糖尿病の治療を行ってきました。循環器疾患は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療が必要なケースが多いのですが、近大病院にお願いすると、いつも詳細に治療経過を報告して頂けることに感謝しています。最近は、高齢化に伴いがん、脳卒中や心筋梗塞の後遺症など様々な疾患をかかえた患者さんが増加しており、通院出来なくなった患者さんへの訪問診療もおこなっています。また自宅での生活が難しくなった人に対して、サービス付き高齢者住宅も併設しています。近大病院の最先端医療と気軽に利用出来るかかりつけ医が連携することで、患者様にさらなる健康と安心をご提供できればと考えています。

はぶ医院 〒586-0022 大阪府河内長野市本多町1-45-101 tel 0721 (56) 2220

はぶ医院 「5期卒業生」 土生裕史 先生

卒業生の今

イベントスケジュール

当院では医療に関するさまざまな講座・教室などを開催しております。
お気軽にお問合せ・ご参加ください。

各相談窓口のご紹介

病気のこと、治療のこと、暮らしのこと。当院ではさまざまな相談窓口をご用意して、
患者さんのお悩みや疑問、ご相談にお応えしています。

近畿大学医学部附属病院 がんセンター主催 **無料**

第10回市民公開講座
「前立腺がん」と「乳がん」

日時 **1.27**(土) 13:30~16:00

開催場所 近畿大学医学部附属病院 円形棟大講堂

申込み 不要

お問い合わせ
近畿大学医学部附属病院 患者相談課
072-366-0221(内線3803)

お茶代です **¥100**

リボンの会

患者さん・ご家族の皆さんによる語りを中心とした会です。
がん体験者ピアサポートがナビゲートしてくれます。

1.25(木) 副作用で食べることが難しい方へ
～食べれないことへのケア～

3.15(木) がん治療中の口腔ケア

胃がんの症状と治療

治療前と治療中の
食事のポイント

開催場所 近畿大学医学部附属病院
病院棟1階 外来食堂 アプリコット

時間 15:00~16:00 申込み 不要

お問い合わせ
近畿大学医学部附属病院 がん相談支援センター
072-366-7096(がん相談支援センター直通)

無料

ともに生きる会

私たち病院スタッフと、がん患者さん・ご家族が「ともに生きていく」ことを目標とした会です。さまざまなテーマに元気、がん医療に携わる専門家による講演・意見交換を行っております。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

1.18(木) がんの個別化医療

3.6(火) 緩和的放射線治療

開催場所 近畿大学医学部附属病院 PET棟3階 大会議室

時間 14:00~15:00

申込み 不要

お問い合わせ
近畿大学医学部附属病院 患者相談課
072-366-0221(内線3803)

無料

肝炎・肝がんについて知ろう!
市民公開講座

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれるほどがまん強く、肝炎が進行していても自覚症状がないことも珍しくありません。肝炎ウイルスから肝炎、肝硬変、肝がんについてわかりやすく解説します。

2.16(金)

開催場所 アブラたかいし3階 小ホール(高石市綾園1-9-1)

時間 15:00~16:00

申込み 要事前申し込み
※下記お問合せ先まで、お名前と人数を事前にご連絡ください

お問い合わせ
近畿大学医学部附属病院 患者相談課
072-366-0221(内線3803)

患者支援センター

患者さん・ご家族・地域の開業医の先生や医療機関、介護施設や介護事業所の方々、
そして院内のスタッフからのご相談やご依頼をお引き受け致します。
患者さんとの信頼関係を大切にして受診される
皆さまの権利を守っていきたくと考えております。

【受付時間】
月～金 9:00~17:00
土 9:00~12:45
お問い合わせ 072-366-0221

緩和ケアセンター

がんをはじめ、重い病を抱える患者さんやそのご家族の身体、
心などのさまざまなつらさを和らげ、安心して暮らすことが
できるように診断時から支えていくのが「緩和ケア」です。
つらさや不安を抱え込まず、
専門の医師や看護師にお気軽にご相談ください。

【受付時間】
月～金 9:00~17:00
お問い合わせ 072-366-0221

がん相談支援センター

がん相談支援センターは国立がん研究センターの研修を修了した相談員が、
がんに関するご質問やご相談にお答えしています。
がんの診断や治療についてもっと知りたいとき、
不安でたまらないときに一緒に考え、
情報を探お手伝いをしています。

【受付時間】
月～金 10:00~16:00
お問い合わせ 072-366-7096

相談窓口

肝疾患相談支援センター

肝疾患相談支援センターでは肝がん、
肝硬変、肝炎など、病気の種類に関係なく、
肝臓に関するさまざまなご相談に面談とお電話で対応しています。
また、治療や検査についてだけでなく、
経済的な支援制度に関してもお問い合わせいただけます。

【受付時間】
月～金 9:00~17:00
お問い合わせ 072-366-0221

栄養相談室

糖尿病や高血圧、心疾患、腎臓病に対する食事療法のほか、
胃や大腸の手術後の食事の進め方、
嚥下機能低下時の工夫など、
「食」と「栄養」に関するご相談にお答えしています。
化学療法中で口内炎や吐気で食べられないなどのお悩みもお聞かせください。

【受付時間】
月～金 9:00~15:00
土 9:00~12:00
※まずは担当医にご相談ください

採血室前に車椅子待機場所を設けました。

あなたの一言で「車椅子の方のスペースが採血出入口付近にはなく、困惑し停めておられる様子を拝見します。車椅子と明記された場所があれば、利用されている方もそうでない方も気持ち良く順番が待てると思います。配慮をお願いします」とのご意見を頂戴しました。少しお時間を頂きましたが、2台分の待機場所を作らせて頂きました。また、元々設置していた長椅子は廊下奥の壁際に移設させていただきました。朝の時間帯は特に採血室前が混雑し、患者様には大変ご迷惑をお掛けしておりますが、待ち時間改善にも取り組んでおりますので、今後ともご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

